

コミュニティは作られる、続いていく

- JANOG56 Meeting 過去プログラムへの返答LT -

2025年7月31日

株式会社グローバルネットコア

金子 康行



<https://www.global-netcore.jp/>

JANOG34 Meeting (2014/07/18 高松)



本プログラムの目的

- コミュニティ活動を有意義に保つ秘訣とは？
- 経験や苦勞、工夫や裏ワザを共有しよう！



July 14, 2014

"Developing and Maintaining a Community" - JANOG34 Meeting in Takamatsu

2

JANOG34 Meeting (2014/07/18 高松)

Question #5

今自分が抜けても
このコミュニティはなくなる

インフラエンジニア勉強会 hbstudy
藤崎正範 (株式会社ハートビーツ)

電力系NCC情報交換会
水野稔晴 (中部テレコミュニケーション株式会社)

越後ネットワーク・オペレーターズ・グループ (ENOG)
金子康行 (株式会社グローバルネットコア)

10の質問

1. このコミュニティをやっててよかった
2. まあ、いろんな苦勞がありました
3. もうやめたい、やめよう、と思ったことがある
4. 過去には消滅の危機もありました
5. 今自分が抜けてもこのコミュニティはなくなるらない
6. きっと10年後も続いていると思う
7. 懇親会が本番
8. コミュニティ活動は本業の利益につながっている
9. マンネリ・ネタ切れの影に怯えている
10. もっと仲間を増やしたい

10の質問

1. このコミュニティをやっててよかった
2. まあ、いろんな苦勞がありました
3. もうやめたい、やめよう、と思ったことがある
4. 過去には消滅の危機もありました
5. 今自分が抜けてもこのコミュニティはなくなるらない
6. きっと10年後も続いていると思う
7. 懇親会が本番
8. コミュニティ活動は本業の利益につながっている
9. マンネリ・ネタ切れの影に怯えている
10. もっと仲間を増やしたい

10年後の答え合わせ

2014 → 2025

電力系NCC情報交換会 のその後

直近の開催

2019年3月	第10回	沖縄
2018年4月	第9回	大阪



現在の状況（水野さんにヒアリング）

- ・ 水野さんは転職したので、現在はこのコミュニティからは離れた位置にいる
- ・ 会として念願だった日本一周（電力系NCC全社での開催）は達成できた
- ・ **現在は物理的な開催が途絶えているが、MLやSlackなどでのつながりは継続している**
- ・ 当時の人とのつながりは、今も仕事に活きていると思う
- ・ **当時の中心メンバーもそれぞれ立場が変わっているが、ぜひ再活性化に期待したい**

インフラエンジニア勉強会 hbstudy のその後

直近の開催

2022年11月 hbstudy #89 オンライン配信 (YouTube Live)
2020年1月 hbstudy #88 新宿



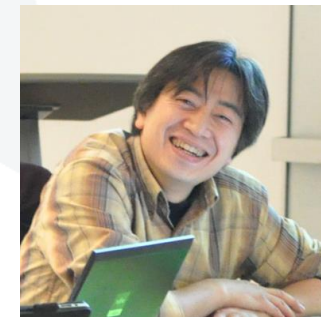
現在の状況（藤崎さんにヒアリング）

- ・ 会社の状況変化と藤崎さん自身の繁忙もあり、開催が不定期になっている
- ・ ようやく落ち着いてきたので、またやっていきたい
- ・ 一時期ハンズオン中心の内容にしたことで、ネタ作りに負荷がかかり開催頻度が下がるきっかけとなった
- ・ hbstudyを通じて、社内に限らない同業界の人たちとの繋がりが得られたのは財産
- ・ **レアな存在だと思っていたインフラエンジニアが、実はたくさんいることを実感した**
- ・ **エンジニアが技術に興味を持ち、自らの力を伸ばす機会を作ること大切だと思う**

越後ネットワーク・オペレーターズ・グループのその後

直近の開催

2025年5月	ENOG86 Meeting	柏崎
2025年2月	ENOG85 Meeting	長岡



現在の状況（金子からのコメント）

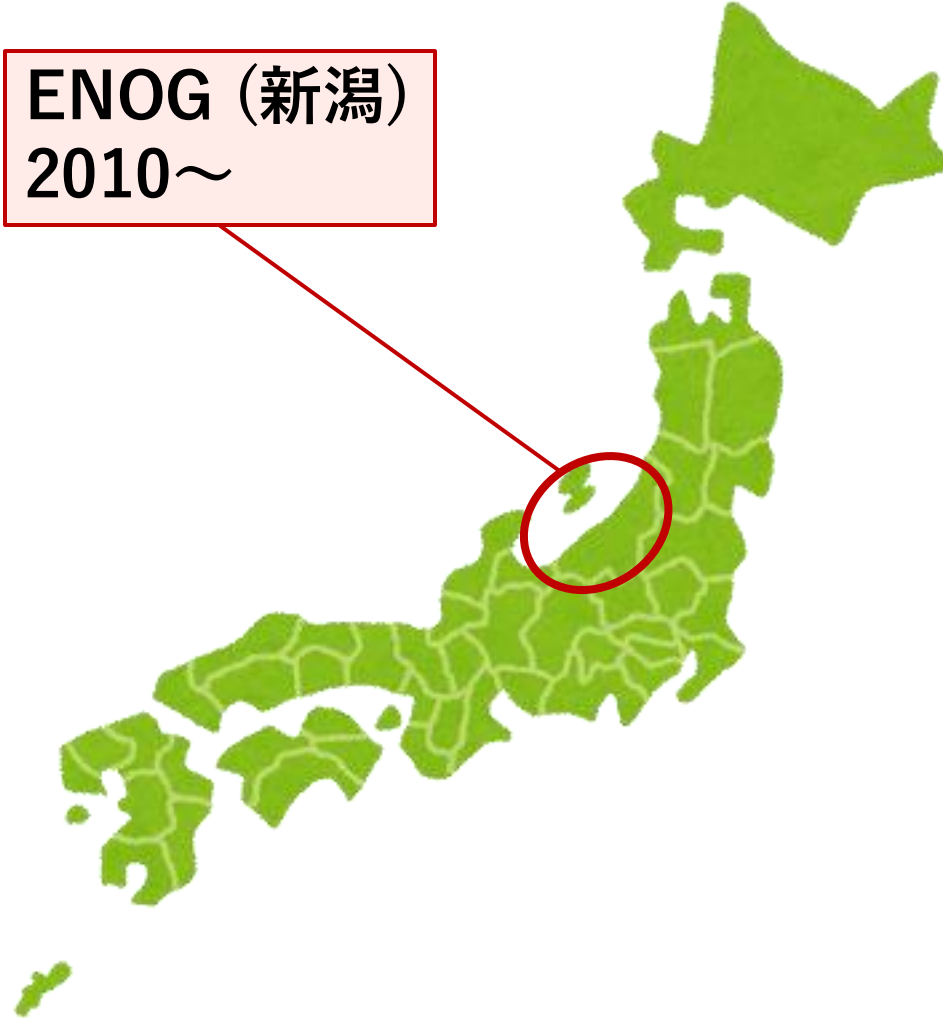
- ・開催頻度が変わった（年6回→年4回）が、継続して勉強会をやっている
- ・運営メンバーは、若干の入れ替わりがあるが基本的に同じ顔ぶれ
- ・この10年で国内各地に地域NOGがたくさんできた、仲間が増えた感じで嬉しい
- ・**各地域NOGや地元その他コミュニティと互いに切磋琢磨しあえるような関係でいたい**
- ・**最近学生が参加してくれるようになり、そのまま地元での就職にもつながっている**
- ・ネットワークやインフラに興味を持つ若者をもっと掘り起こしていきたい

2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）

ENOG（新潟）
2010～



JANOG（日本）
1997～



2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）

ENOG（新潟）
2010～



JANOG（日本）
1997～

QUNOG（九州・沖縄）
2014～

2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）

ENOG（新潟）
2010～

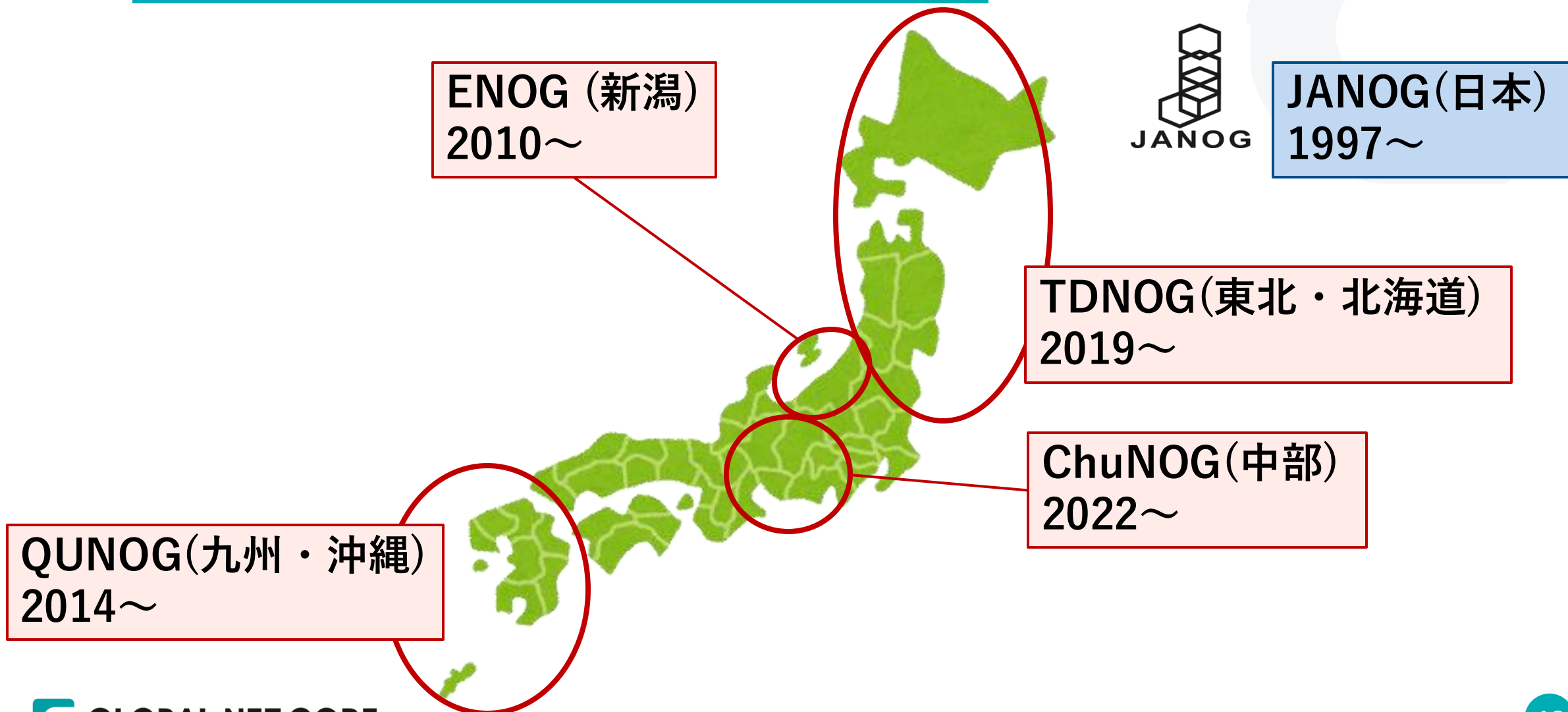


JANOG（日本）
1997～

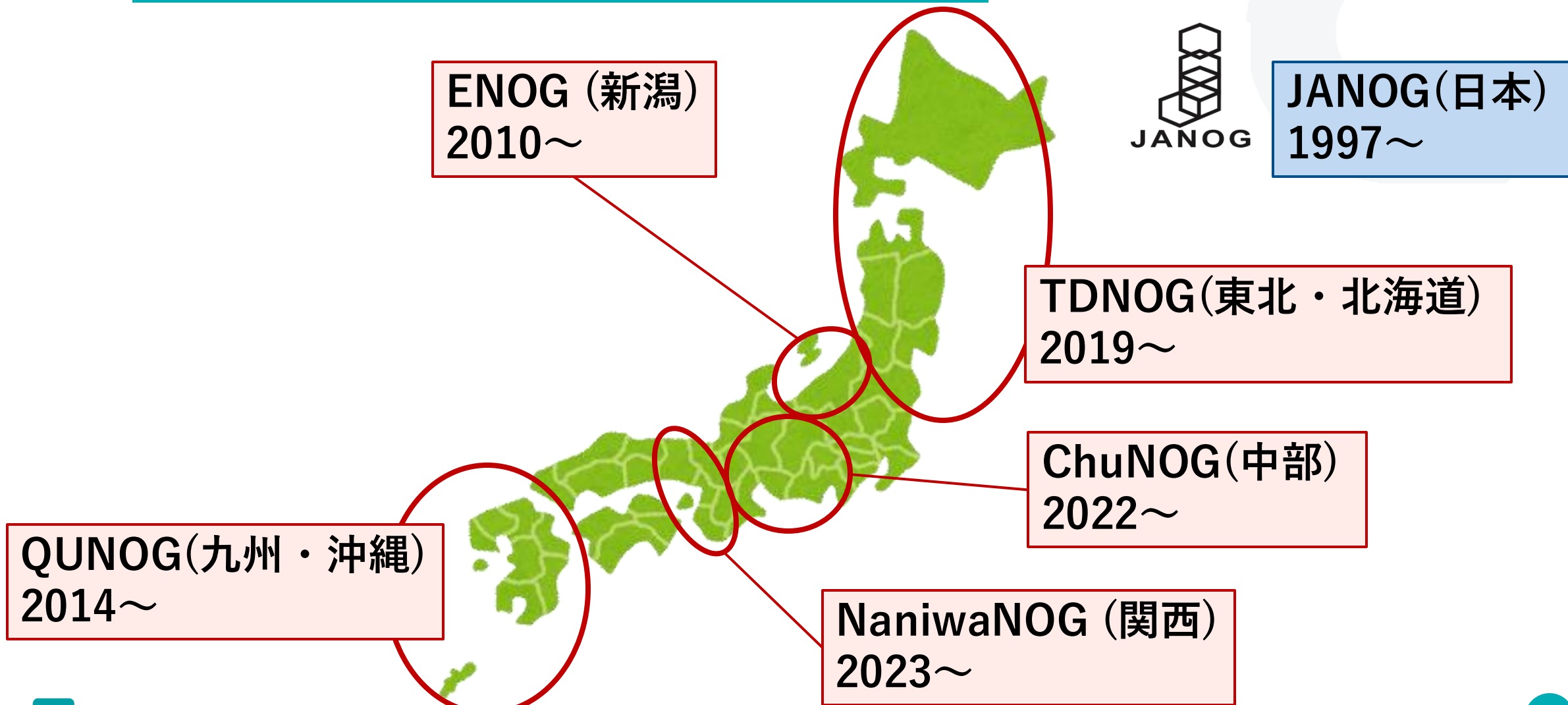
TDNOG（東北・北海道）
2019～

QUNOG（九州・沖縄）
2014～

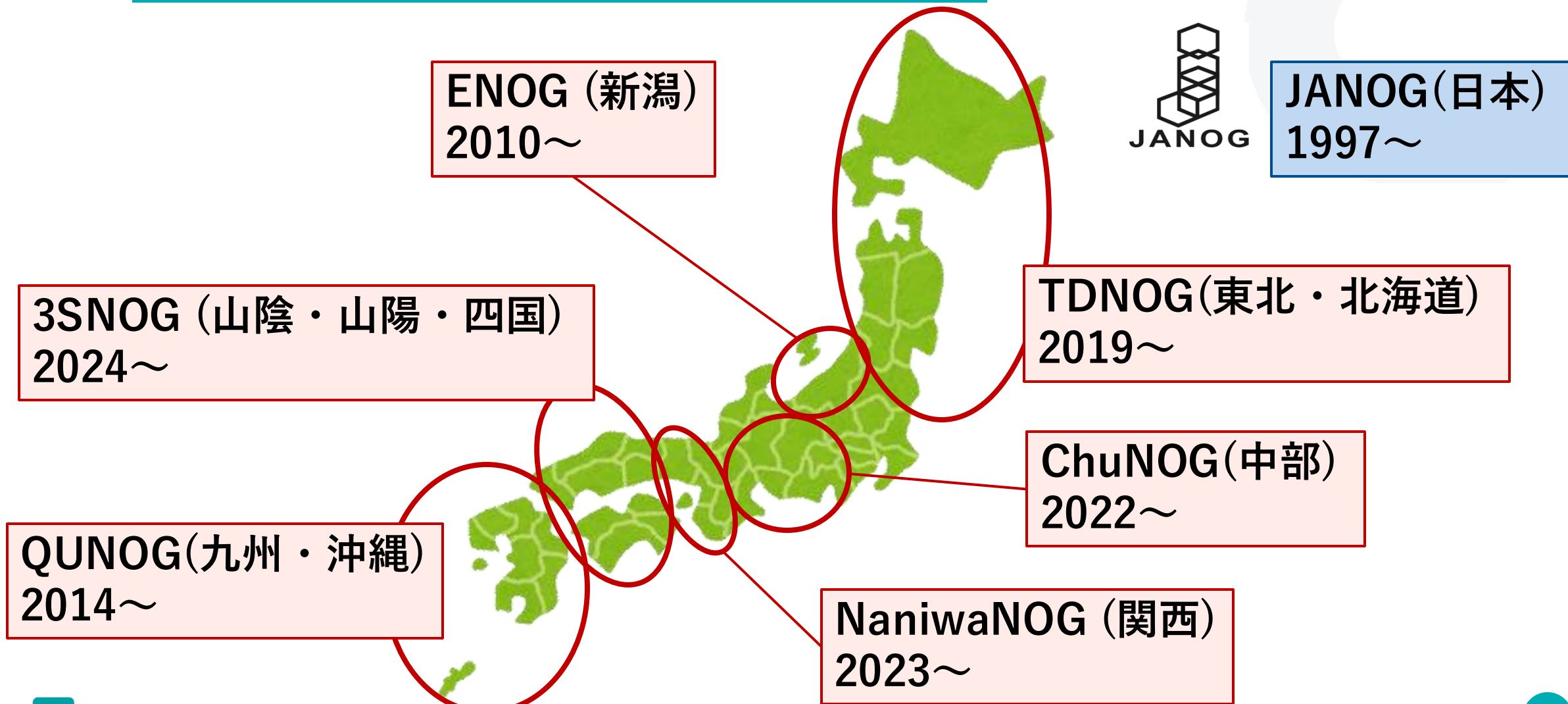
2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）



2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）



2014年以降に誕生したコミュニティ（地域NOG）



2014年以降に誕生したコミュニティ（新潟地域）

JAWS-UG新潟
(AWSユーザー)
2018～



DERTA Community
(地域共創デザイン)
2019～



NINNO
(イノベーション創出)
2020～



NINNO ACCADEMIA
(リカレント教育)
2023～



Niigata5分Tech
(エンジニア交流)
2023～



新・10の質問

1. このコミュニティの目的はなんですか？
2. このコミュニティの運営メンバーは何人程度ですか？
3. このコミュニティの参加メンバーは何人程度ですか？
4. このコミュニティが設立されたきっかけはなんですか？
5. このコミュニティを運営する一番のモチベーションはなんですか？
6. このコミュニティの運営にあたって課題と感じていることはなんですか？
7. このコミュニティを運営していて嬉しかったことはなんですか？
8. 10年後もこのコミュニティは存続していると思いますか？
9. どのようなコミュニティの形が理想的だと思いますか？
10. このコミュニティ以外で好きなコミュニティやお手本としたいコミュニティがあったら教えてください。

新・10の質問

2. このコミュニティの運営メンバーは何人程度ですか？
3. このコミュニティの参加メンバーは何人程度ですか？

	JA	E	QU	TD	Chu	Nani wa	3S	JAWS -UG	DERTA	NINNO	NINNO ACAD.	N5T
運営 メンバー数	13	6	6	6	10	23	10	3	9	6	6	4
参加 メンバー数	4238	300	370	260	700	250	225	25	363	220	100	98

新・10の質問

5. このコミュニティを運営する一番のモチベーションはなんですか？

「地域への貢献」「地域における場作り」

地域を盛り上げたい、地域を強くしなやかなものにしたい
社会的な地位や立場と無関係に**オープンに集まれる場**、学びたい人が集まれる場を作りたい
仲間を見つけ新しいコミュニティやプロジェクトが生まれるきっかけを提供したい
自己実現している素敵な人の姿を継続して続けることができる

「楽しんで、楽しませる」

参加者の皆さんに喜んでもらう、参加者としてしっかりつながって**腹を割って話せる**
いろんな人とわちゃわちゃ話したい、運営側であっても現地開催・懇親会を楽しめる

「学生・若者への貢献」

学生に興味を持ってもらいたい、若手運営メンバーを育成したい、地元の学生に貢献したい

「コミュニティへの恩返し」

自分自身もコミュニティから多くを得た、それを**他の人にも還元したい**

新・10の質問

6. このコミュニティの運営にあたって課題と感じていることはなんですか？

「参加者に関する課題」

参加者数の確保、参加者の顔ぶれ固定化回避、新たな参加者の開拓
学校関係者や学生との連携、地域との連携、幅広い年齢層へのリーチ

「運営に関する課題」

運営メンバーを増やす、運営の世代交代
運営負担が過剰にならず継続するための仕組み
開催地・会場の選定、現地参加者数・規模の拡大
学生支援に関わるお金周りのこと

「その他の課題」

スピンオフ活動の盛り上がりに対して主たる活動への参加が少なくなっている
活動量の数値化

新・10の質問

7. このコミュニティを運営していて嬉しかったことはなんですか？

「感謝と貢献」

このコミュニティが好き、次も参加したい、と直接言ってもらえたこと
参加してよかった、楽しかった、有用だった、自分も発表したい、と言ってもらえたこと
参加者が自ら積極的に活動に関わってくれていること
しばらく参加できていなかった人が久しぶりに参加してくれること

交流から人のつながりが広がり、**共助しながら成長するつながり**が生まれているところ
参加者がその後全国的に活躍し、このコミュニティがあったおかげですと感謝されたこと
NOCチームが他のイベントでも活躍していること

学生が地元の素敵な大人や仲間と出会い、就職で地元に残る決断をしてくれたこと
県単位、国単位の事業コンソーシアムを組んで、**共創活動**ができるところ

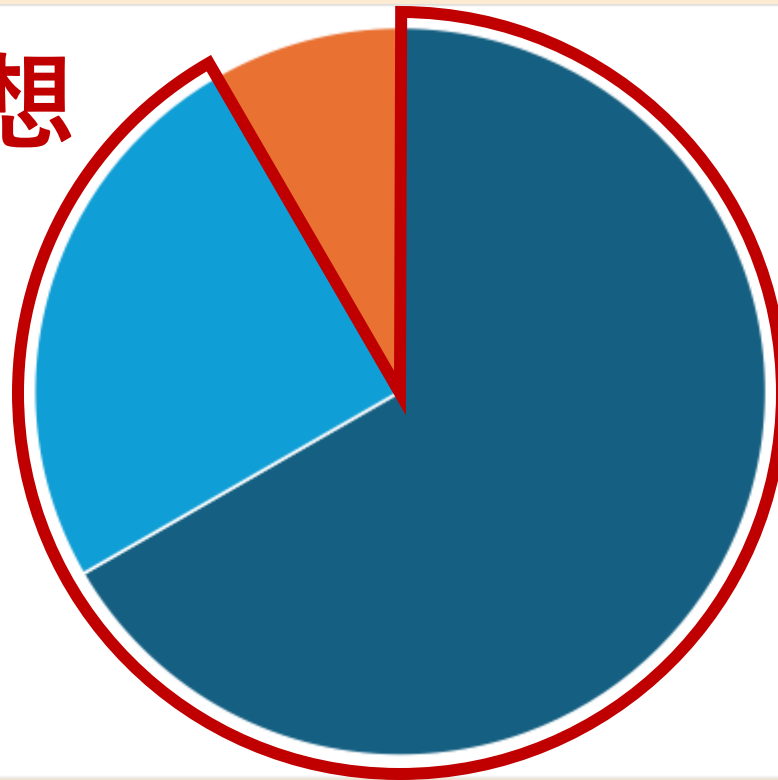
「その他」

懇親会の参加者数・集金が事前手配とピッタリ一致した時

新・10の質問

8. 10年後もこのコミュニティは存続していると思いますか？

存続予想
92%



- 存続している
- 存続しているといいな
- わからない
- 存続していない

新・10の質問

9. どのようなコミュニティの形が理想的だと思いますか？ (1/4)

コミュニティの中で価値観とか大事にしている事がちゃんと参加者や関係者に共有出来ており、強力なトップや権威が率いるのではなく、草の根的に議論したいこと、検討したいことなどが上がってくる、上がりやすい自律分散的なコミュニティが理想的だと思います。

参加者も運営者もそのコミュニティのことが好きで、自発的・積極的に関わってくれる形。誰か一人に依存するのではなく、みんなで仲良く、自然に作り上げられている形。発表するぜー、っという人がたくさんいて、ネタに困ることがない形。

運営視点では、スタンдрプレーから生じるチームワーク、参加者視点では、ゆるやかにつながる自分の居場所。

緩く真面目に、緩く楽しんで。

新・10の質問

9. どのようなコミュニティの形が理想的だと思いますか？ (2/4)

会社を超えて、技術者同士がつながって、新しいことに挑戦したり、助け合ったり、仲間を増やしたり、明日も仕事頑張ろうと思えるコミュニティ。あとは、運営する人も、来る人も、素直に楽しんでやっているコミュニティ。

どんどん若手の運営メンバーが出てくる組織。そして、若手が気軽に登壇をできる場を作りたい。オトナたちが温かく見守るコミュニティ。

気軽に参加や登壇，質問もできるイベントでありたいと思います。参加者の方が，コミュニティを通じて，何か得られるものを提供できればと思っています。運営に関しては，無理なく楽しく運営できることが理想だと思います。

新・10の質問

9. どのようなコミュニティの形が理想的だと思いますか？ (3/4)

運営側は場所を提供し、参加者のほぼ全員が発表してコンテンツを提供してくれる形。運営側はあまり無理をしなくて済むし、参加者がいろんなケースやコンテンツを用意して発表してくれれば、運営側の想像以上に面白くてタメになる勉強会が出来上がっていく。その後の懇親会では、ネタに困らないし、自己紹介がほぼ不要（登壇で自己紹介しているから発表とセットで覚えている）なので、話が弾みやすい。

新規メンバーが定期的に増えて、また、既存メンバーが新たな人を連れて来てくれること。あとは、運営メンバーが複数人いて、自発的に勉強会等が開催できる体制になっていくこと。

新・10の質問

9. どのようなコミュニティの形が理想的だと思いますか？ (4/4)

どんなモチベーションでも関われる余白があり、誰もが「自分はここにいていいんだ」と思えるようなコミュニティ。

個人を尊重しながら自発的な活動につながり、自身のスキル含めて自身の可能性の広がりを感じ、実践と体験をしていける自律的な形態。

新・10の質問

10. このコミュニティ以外で好きなコミュニティやお手本としたいコミュニティがあったら教えてください。

JANOG、QUNOG、ENOG、ChuNOG

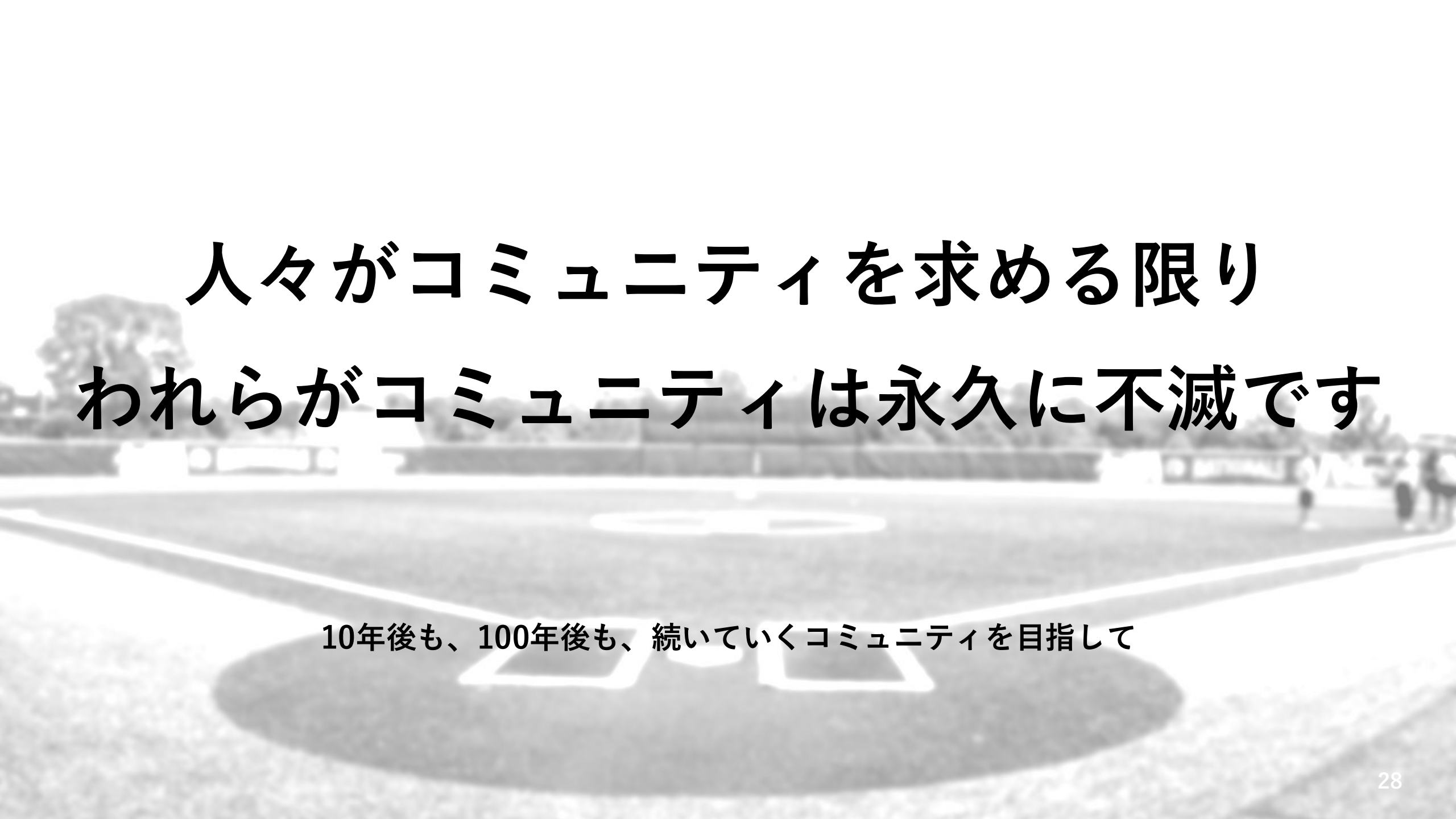
NINNO、DERTA

NDS、Flags Niigata、KAIKOU !、NIIGATAマイプロジェクト

BUFF、POOLLO、SHElikes

LOCAL

SHIBUYA QWS



人々がコミュニティを求める限り われらがコミュニティは永久に不滅です

10年後も、100年後も、続いていくコミュニティを目指して

ENOG87 Meeting やります！

2025年8月22日（金） 14:00～

会場：新潟コンピュータ専門学校
（新潟県新潟市中央区古町通7番町935 NSGスクエア 7F）

誰でも参加できます！学生さんも大歓迎！
興味があればぜひ！！

<https://enog.jp/archives/3104>



この後すぐ！野良BoFやります！！

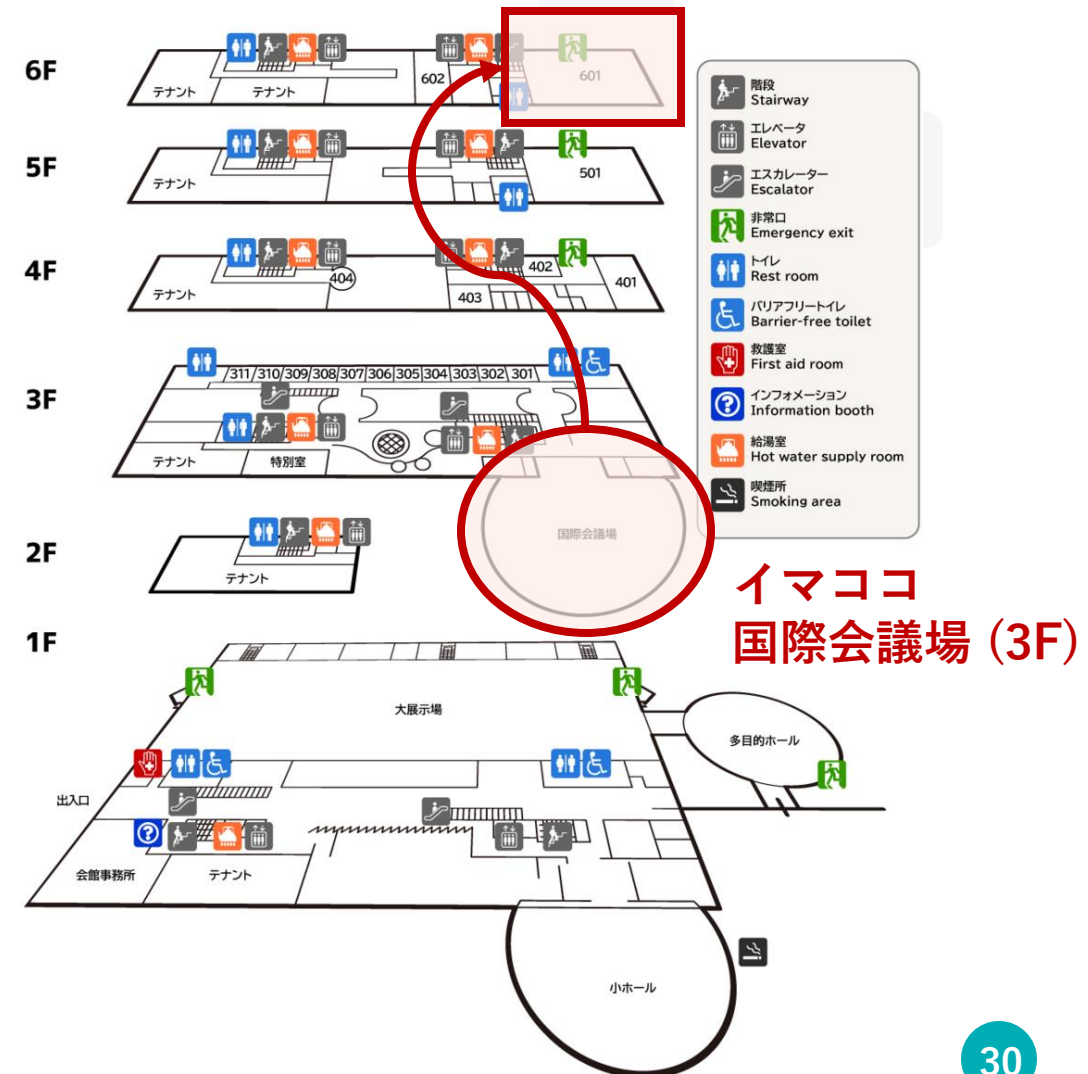
第3回 地域NOG BoF

11:15～、601大会議室（6F）

地域NOGの主催者が一堂に会し、
運営の課題などについて議論します！

コミュニティ活動に興味がある方は
ぜひお越しください！！

地域NOG BoF
601大会議室（6F）



確かな未来を、確かな力で。



GLOBAL NET CORE